

# 教育だより

## 練馬区初の小中一貫教育校 大泉桜学園の取組を紹介します

### 運動会～1年生から9年生の全ての児童・生徒が参加～



平成23年10月1日(土)、異学年の交流と学び合いを生かした教育活動の一環として、1年生から9年生の全児童・生徒が参加しての運動会が開催されました。主な種目として、綱引きは3年生と7年生(中学1年生)、棒引きは4年生と8年生(中学2年生)でチームを構成し、一緒になって競いました。下級生の元気な声や上級生の力強い姿など、小中一貫教育校ならではの光景が見られました。

### 児童・生徒会選挙を実施しました～児童会と生徒会を統合～

平成23年9月15日(木)、5年生から9年生を対象に、開校後、初めての児童・生徒会選挙が開催されました。小中一貫教育校の特色を生かして“児童会”と“生徒会”を統合し、“児童・生徒会”を設置しました。9月2日の告示日から当日まで、本物の選挙公報を参考に自分たちで選挙公報を作成し、登校前や放課後の呼びかけなど、選挙活動を続けてきました。立候補者立会演説会では、会長職に立候補した8年生1人と、役員職に立候補した5～8年生13人の合計14人が抱負を語りました。



【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/atarashi/shochuikkan/index.html>  
 【問合せ】 新しい学校づくり担当課 新しい学校づくり担当係〔電話5984-1034〕

#### 主な内容

- ◆河口教育長の就任にあたって……………2面
- ◆企画展「武蔵野台地の縄文遺跡」のお知らせ◆ふるさと文化館ふれあい土曜事業◆第30回練馬児童劇団発表会……………3面
- ◆スポーツ祭東京2013練馬区実行委員会設立総会の開催◆SSCの紹介……………4面

- ◆学校応援団の紹介◆東日本大震災復興チャリティイベント……………5面
- ◆子供たちの健やかな成長のために◆教育相談室の紹介◆受取窓口の開設……………6面
- ◆学校等における放射線量等の測定について◆中学校の教科書採択◆教育委員会の動き……………7面
- ◆平成23年度練馬区立中学校生徒海外派遣……………8面

# 就任にあたって

教育長 河口 浩



本年6月、河口浩新教育長が誕生しました。

今回は、就任にあたっての抱負を紹介いたします。

## 学校の災害対策について

3月11日の大震災によって、私は、子供の安全を確保し命を守ることが、学校そして教育委員会の最も重要な責務であることを、あらためて強く思いました。

各学校では、教育委員会が示した対応指針を基に防災計画や避難訓練等を見直し、改善を進めております。また、防災意識を高め、万一のときには自分の身は自分で守り、更に地域の防災活動にも力を尽くす子供を育てることが大切です。今後も、各校の防災体制と防災教育の充実を図ってまいります。

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習の場であり、地震発生時においては、児童・生徒等の安全確保や地域住民の避難場所としての役割を果たします。

このため教育委員会では、避難場所となる小中学校の耐震化を進めてまいりました。今年度末には、小中学校の耐震補強工事が完了します。今後も引き続き、日常点検に努めてまいります。

## 「子ども関連施策」の総合的な推進について

少子・高齢化の進行に伴い、子供を取り巻く状況は大きく変化し、「子ども関連施策」については、利用者ニーズの多様化に伴い、これまでの枠組みを越えた取組が求められています。

その中で就学前児童や就学児童、青少年関連の施策について、より一層充実していくことが必要とされています。

現在、これらの取組は、教育委員会と区長部局で連携を取りながら進めているところではありますが、乳幼児期から青年期まで切れ目のない支援体制が欠かせないことから、平成24年4月に組織改正を行い、児童青少年部を教育委員会へ移行し、これらの取組を一体的に進めることとしております。

教育委員会にとっても、大きな組織改正になりますが、「子ども関連施策」を総合的に推進することは、区民サービスの向上に資することから、新たな組織において全力をあげて取り組んでまいりたいと考えております。

## 今後10年間の練馬の教育の方向性について

教育委員会では毎年度教育目標を定め、人権尊重の精神を基調とし、学校、家庭、地域社会の緊密な連携のもとに、心身ともに健康で知性に富み、人間性豊かな子供の育成を図るため様々な取組をしています。

平成23年度から子供たちの「生きる力」を育む理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力、判断力、表現力などの育成を重視した新学習指導要領がスタートしました。教育委員会では、この機会をとらえ、今後10年間を通じて目指すべき教育の姿を明らかにし、それを実現するための中・長期的な施策や重点施策を体系的に明らかにした「練馬区教育振興基本計画」を定めることとしました。この計画により、教育委員会のこれまでの取組を継承しながら、今後10年間を通じて取組施策を体系的に進めてまいりたいと考えております。

## 新学習指導要領に基づく学校教育の充実について

今回の学習指導要領の改訂では、知・徳・体の調和のとれた発達を図ることが重要であると示されております。本区におきましても、各学校は学力調査や体力調査等の結果から児童・生徒の実態を把握するとともに、言語活動の充実や思考力・判断力・表現力等、今求められている学力の育成を目指して授業改善に取り組んでおります。また、思いやりの心や規範意識を育むために、全教育活動を通じた道徳教育の充実にも努めているところであります。

今後は、小中学校9年間を見通した教育を推し進めるために、小中一貫教育校大泉桜学園をはじめ小中一貫・連携教育研究グループ校の研究を更に推進し、小中学校の教員が互いの学力観・指導観・児童生徒観について理解を深めることで、教育活動の更なる改善充実を図ってまいります。

## 企画展「武蔵野台地の縄文遺跡」

区内の遺跡を中心に縄文時代の土器、石器、土偶など約90点の出土品と、遺跡の写真などを展示します。

【会 期】 11月27日(日)～12月25日(日) 9時～18時

【場 所】 石神井公園ふるさと文化館(月曜休館)

【観 覧 料】 無料

◆企画展関連 講演会「縄文のムラ」

【講 師】 國學院大學名誉教授 小林達雄

【日 時】 11月27日(日) 14時～16時

◆企画展関連 シンポジウム「縄文集落研究の争点」

【日 時】 12月4日(日) 13時30分～16時30分

※講演会、シンポジウムの申込みは11月1日(火)から電話で受付(先着順)

◆学芸員による展示解説 【日 時】 12月11日(日) 14時～15時(当日受付)



北新井遺跡から出土した土偶

【問合せ】 生涯学習課 文化財係 (電話5984-2442)

## 石神井公園 ふるさと文化館 ふれあい土曜事業

ふるさと文化館では子供向け事業として毎週土曜日にふれあい土曜事業を実施しています。事前予約不要、当日会場申込制です。

11月		12月	
5日 13:00	切り紙であそぼう	3日 13:00	タイル画をつくろう
12日 10:00	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	10日 10:00	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう
19日 11:00, 14:00, 14:30	いろいろ端で楽しむかみしばい	17日 13:00	なわとびであそぼう
26日 13:00	消しゴム版画をつくろう	24日 13:00	小さなしめ飾りをつくろう

※「消しゴム版画をつくろう」・「タイル画をつくろう」は、材料費(各催し100円)がかかります。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/bunka/furusato/>

【問合せ】 石神井公園ふるさと文化館 (電話3996-4060)

## 第30回練馬児童劇団発表会を行いました！

10月2日(日)に第30回練馬児童劇団の発表会を、練馬文化センター小ホールで行いました。今回の演目は「サウンド・オブ・ミュージック」で、昼・夜公演ともたくさんの方々にご来場いただきました。

今年で練馬児童劇団は30周年を迎えることができました。たくさんの方々にご支援・ご協力をいただいた結果、演劇活動を続けることができ、その中で劇団員は、情操を深め、互いに協力し合い、感謝する気持ちを培ってきました。これからも、皆様に愛される児童劇団を目指して、精一杯頑張っていきます。



【問合せ】 春日町青少年館 (電話3998-5341)

## スポーツ祭東京2013練馬区実行委員会設立総会の開催!



平成25年(2013年)に第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会が「スポーツ祭東京2013」として東京都で開催されます。練馬区は、国民体育大会正式競技の銃剣道と全国障害者スポーツ大会のソフトボール、フットベースボール実施会場になります。また、国民体育大会のデモンストレーション行事としてソフトバレーボールを実施します。

「スポーツ祭東京2013」の開催準備や大会運営には、関係競技団体および関係機関との連絡・協力体制の確立が必要となります。そこで、平成23年8月25日に区内各界各層の方々にお集まりいただき、「スポーツ祭東京2013練馬区実行委員会」の設立総会・第1回総会を開催しました。

設立総会では実行委員会会長となる志村豊志郎区長の挨拶から始まり、副会長となる小川けいこ練馬区議会議員、顧問となる小池ゆりこ東京都銃剣道連盟会長の挨拶と続き、さらには、大会のマスコットキャラクターである「ゆりーと」も登場して和やかな雰囲気での会が開かれました。

今後はこの実行委員会を中心として開催諸準備を進めることとなりますが、スポーツ祭東京2013の練馬区開催には、大会スタッフとしての従事や区民運動への参加など、多くの皆様に大会へ関わっていただく必要があります。スポーツ祭東京2013練馬区開催の成功に向けて、皆様のご協力をお願いします。



【問合せ】スポーツ振興課 国体準備担当係〔電話5984-3555〕



## SSCの紹介

No.3

### ホンモノから学ぶSSC

#### 「ねりまバスケットボールフェスタin光が丘」

このフェスタは実業団の公式試合が間近で見られると評判の事業です。2月6日光が丘体育館実施のフェスタは、前半が練馬選抜 vs. 杉並選抜のミニバスケットの試合(小学生男子・女子)。観覧席はホーム・アウェイなど感じさせることなく、皆で応援していました。保護者以外の応援も多く、試合に参加した子供達は皆「ちょっとしたプロ気分？」を味わっていました。

後半がメインイベントであるJBL2「ビッグブルー東京」vs.「レノファ鹿児島」およびWJBL「エバラヴィッキーズ」vs.「ビッグブルー東京」の実業団公式試合。ドリブル、ハンドリング、シュート、どれをとっても動きがしなやかで速く、改めてホンモノを見た感じがしました。

#### ◎企画したSSC光が丘の担当者は

「子供に夢と希望を持ってもらおう」という発想から始めました。今年度も11月6日(日)に実施します。たくさんの子供たちが観戦されるのを楽しみにお待ちしております。(小学生以下無料)

【問合せ】NPO法人 光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ〔電話5968-1600〕



#### 「少年少女サッカー教室」

この教室はSSC上石神井の青少年育成事業の一環として10年近く続いている人気事業です。トップアスリートの豊かな経験と優れた技術を活用して、子供達の体力・運動能力を向上させる目的で開催しています。

2月6日に行われた教室では元Jリーガー・鹿島アントラーズ大野俊三さんをお招きして、講話および実技指導を行っていただき、子供たちはスポーツをする楽しみ・体を動かす面白さを学びました。最後にサイン会を実施してトップアスリートと小学生・保護者・スタッフの交流を図り、充実した教室が終了しました。

#### ◎企画したSSC上石神井の担当者は

努力すること・スポーツを楽しむこと・大きな夢を抱くことなど子供たちの限らない能力・感性を大事に育てていきたいと思えます。今年度も、12月11日(日)に実施します。たくさんの子供たちが参加され、仲間の輪が広がっていくのを楽しみにお待ちしております。ぜひご応募ください。(11月11日区報に掲載予定)

【問合せ】NPO法人 スポーツクラブホワイエ上石神井〔電話3929-8100〕



## ≡ 学校応援団の紹介 ≡

平成22年度末をもって、全区立小学校において、「学校応援団」が設立されました。

そこで、地域の方が中心となって、放課後の児童の遊び場の確保・異年齢児の交流・読書の推進を図る組織「学校応援団」の活動を紹介していきます。

### 開進第四小学校応援団 夏休み最後の思い出づくり

8月20日、PTA・青少年委員との共催で、夏祭り「葉かげの集い&キャンプファイヤー」を実施しました。学校応援団としては、射的やポン菓子屋などを企画し、メインイベント「キャンプファイヤー」では、みんな楽しくダンスを踊りました。



### 大泉第二小学校応援団 夏季恒例どじょうつかみ大会



地域の方が主体となって毎年実施している「どじょうつかみ大会」。今年度は8月22日、夏休みも残りわずかの子どもたちにとって、良い思い出づくりとなりました。

つるつるすべるとどじょうにみんな四苦八苦。男の子も女の子もびしょぬれになって、楽しく昔の遊びを体験することができました。

【問合せ】生涯学習課 学校応援団・開放係（電話5984-1057）

## “がんばろう日本”の思いを込めて

### ～バレエなどによる東日本大震災復興支援チャリティ公演を開催～



美術館のロビーがバレエ会場に！

と鑑賞していました。また、最後の詩の朗読では、タイトルどおり「つながる命」を感じさせ、会場にいた皆さんが被災地に思いを馳せたことと思います。なお、このイベント中に義援金募金箱を美術館内に設置し、総額134,102円の義援金が集まりました。義援金は練馬区から日本赤十字社を通して被災地へ寄付されます。

6月26日(日)に東日本大震災復興支援チャリティ公演と題しバレエとソプラノ、詩の朗読によるイベント「つながる命」が美術館中央ロビーで開催されました。

このイベントは少しでも被災地の方々のお役に立てればと企画され、演目は練馬区小竹町に本拠を置くバレエ団ピッコロの皆さんを中心に構成されました。

当日は、美術館ロビーが小さく感じるほどのバレエの演技に始まり、ピアノの演奏やプロの歌手によるソプラノなど盛りだくさんの内容で、集まった約150名の皆さんはじっくり



ソプラノの歌声が美術館中に響き渡りました

【問合せ】練馬区立美術館（電話3577-1821）

## ≡≡≡ <シリーズ> 子供たちの健やかな成長のために ≡≡≡

練馬区教育委員会が学校教育を支援するために独自に人材を配置している事業紹介の第3回となる今回は、学校生活支援員を取り上げます。この学校生活支援員の活動内容と実際の活動の様子を紹介します。

### ～学校生活支援員～



練馬区教育委員会では、学校生活を過ごす上で支援を必要としている児童・生徒のために、学校生活支援員を配置しています。平成23年度は、区内小中学校合わせて120人の学校生活支援員と70人の学校生活臨時支援員が活躍しています。

学校生活支援員の職務は、主に3つあります。1つは、それぞれの児童・生徒に応じた学習の支援、2つは、障害のある児童・生徒に対する移動および日常生活の介助、3つは、学校生活上の困ったことを克服するための助言です。

例えば、区内小学校に4年間勤務しているある学校生活支援員は、常に児童の側で心身の状態を細やかにとらえ、困ったことを一緒に解決しています。心に不安がある児童も、学校生活支援員が同じ教室にいて見守るだけで安心することができます。また、学校生活支援員は児童の心と体を包み込むように受け止めてくれるので、気持ちが高ぶっている児童も落ち着くことができます。こうした温か

く的確な支援によって、学校生活支援員は児童や保護者の信頼を得ています。

区内小中学校では、今後も特別支援教育の理念に基づき、児童・生徒の情報を校内の全教職員で共有し、学校生活支援員の協力を得ながら一人一人のニーズに応じた支援を続けていきます。

【問合せ】 教育指導課 指導主事（電話5984-5759）

## 教育相談室をご利用ください

教育相談室では、不登校やいじめ、発達の遅れなど、子供や保護者の方のさまざまな悩みに対し、教育・心理・医療の専門スタッフが相談に応じています。相談の内容に応じて、カウンセリング、プレイセラピー、箱庭療法等を行います。相談室は区内に3か所あります。ご都合のよい相談室にお申しください。

また、電話での相談や子供電話相談も行っていますので、お気軽にご相談ください。

※来室のご相談は予約制です。

▶ 受付日時 月～土曜 9時～17時（金曜は18時まで）※祝休日を除く

▶ 来室相談申込・電話相談 各教育相談室へ

▷ 練馬教育相談室（豊玉北5-15-19）

☎ 3991-3666

▷ 光が丘教育相談室（光が丘3-3-1-102）

☎ 5998-0091

▷ 関教育相談室（関町北1-21-15）

☎ 3928-7200



### 教育相談室の相談受付状況

相談件数は年々増加しており、昨年度は合計1,521件の相談をお受けし、約17,000回の面談を行いました。ご相談の内容については、学校や学習にかかわるもの(37%)の他、対人関係・集団生活(23%)、発達の問題(17%)、家族・家庭の問題(14%)となっています。

また、昨年度の電話相談は合計530件でした。相談窓口等に関する問合せ(84件)、不登校(76件)や子供への対応(68件)、いじめ(38件)などの相談が多い状況です。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikucenter/kyoikusodan/kyoikusodanshitsu.html>

【問合せ】 総合教育センター（電話3904-4881）

## ≡≡≡ 豊玉リサイクルセンターで図書館の予約資料の受け取りや返却ができます ≡≡≡

10月8日(土)から、豊玉リサイクルセンター（豊玉上2-22-15）に、予約した図書館の本やCDなどの受け取りや返却ができる専用窓口が開館しました。

資料の受け取りの際は、図書館利用カードをお持ちください。利用登録や変更登録、資料の閲覧・相談・予約などは、できません。

▷ 窓口開館日 月・火・木・金曜…10時30分～20時、土・日曜、祝休日…10時30分～19時

▷ 休館日 水曜（祝休日の場合はその翌日）、年末年始

▷ 問合せ 電話3992-1600



【問合せ】 光が丘図書館（電話5383-6500）

## 学校等における放射線量等の測定について

3月11日に発生した東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受けて、区では放射性物質による児童・生徒の健康への影響に対する不安の解消と、保護者の皆さんに的確な情報を提供するため、区内各所で空間放射線量の測定をしています。

測定方法、測定場所や測定結果等の詳細については、区ホームページで公表しています。

現時点（10月13日(木)現在）の測定結果は、日常の区民生活や学校の教育活動等において、人体・健康に影響を与える数値ではありませんので、区内各学校（園）においては、通常の教育活動を実施しております。

今後も空間放射線量の測定を継続し、児童・生徒の健康と安心の確保に努めます。

※なお、夏季期間（6月～8月）においては、区立小学校10校、区立プール2施設でプール水の放射性物質を測定しました。月に1度測定した結果、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137は不検出でした。

【問合せ】庶務課 庶務係（電話5984-5609）

## 中学校の教科書採択が行われました

平成24年度から練馬区立中学校で使用する教科書が、8月8日(月)に開催された教育委員会で採択されました。



今回の中学校教科書採択については、4月25日付けで中学校教科書協議会に調査研究を諮問し、7月22日(金)に開催された教育委員会において、同協議会から答申を受けました。

この答申を受けて各教育委員が調査研究を行い、8月8日(月)に開催された教育委員会において、来年度から使用する教科書(教科用図書)を表のとおり採択しました。

今回採択した教科書については、平成24年度から27年度までの4年間使用します。

種 目	発 行 者	種 目	発 行 者
国 語	三省堂	音楽(一般)	教育芸術社
書 写	三省堂	音楽(器楽合奏)	教育出版
社会(地理的分野)	東京書籍	美術	光村図書
社会(歴史的分野)	教育出版	保健体育	大日本図書
社会(公民的分野)	東京書籍	技術・家庭(技術分野)	開隆堂
地 図	帝国書院	技術・家庭(家庭分野)	開隆堂
数 学	啓林館	英 語	東京書籍
理 科	東京書籍		

【問合せ】庶務課 庶務係（電話5984-5609）

## 教育委員会の動き（平成23年7月～9月）

平成23年7月から9月までの教育委員会は、定例会6回、臨時会2回を開催いたしました。

主な議案、協議等は下記のとおりです。詳細な案件につきましては教育委員会ホームページもしくは下記【問合せ】にてご確認ください。

【議 案】

- ・練馬区立中学校教科用図書の採択について
- ・平成23年度教育費関係予算案（補正第1号）について（他5件）

【協 議】

- ・区立幼稚園の適正配置について ・練馬区教育振興基本計画の策定について
- ・平成24年度の教育課程について ・組織改正について

【視 察】

- ・光が丘四季の香小学校における授業

～教育委員会は傍聴できます～

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の詳しい内容については、教育委員会ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時間の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点（原則として先着順）で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakkou/kyoikuiinkai/index.html>

【問合せ】庶務課 庶務係（電話5984-5609）



# 平成23年度 練馬区立中学校生徒海外派遣



練馬区では、毎年、友好都市提携を結んでいるオーストラリア・イプスウィッチ市に区立中学校生徒68人（各校2人）を派遣しています。派遣生は事前に6回の研修会に参加し、英会話の練習をはじめ、日本とオーストラリアの文化や産業、ホームステイ家庭でのマナーなど多岐にわたって学習し、派遣生としての自覚と責任をもって海外派遣に臨みました。



## 【海外派遣の日程】

- 7月22日(金) 出発
- 7月23日(土) **ホームステイ**（～28日・6日間）  
ホストファミリーとの交流
- 7月25日(月) **ハイスクール体験**（～28日・4日間）  
ハイスクールでの現地生徒との交流
- 7月28日(木) **さよならパーティー**
- 7月29日(金) **市内見学**
- 7月30日(土) 帰国

6日間ホームステイでお世話になったホストファミリーのみなさんは、常に温かく派遣生を支援してくださりました。派遣生にとって、ホストファミリーは第二の「家族」です。



ホストファミリーとの出会い



優しく教えてくれるスクールバディ

オーストラリアの生徒は誰もがとてもフレンドリーで、いつも笑顔です。困っていると、すぐに声をかけてくれます。特に、派遣生担当のスクールバディには、たくさんのことを教えてもらいました。



クイーンズパーク内のネリマガーデン(練馬園)にて

受け入れてくださったオーストラリアの方々への感謝の気持ちを伝える「さよならパーティー」では、ソーラン節の後、アンコールとして参加者全員で「ワルチング マチルダ」を歌いました。300人全員の気持ちが一つになった実感と感動を得ることができました。



ソーラン節後の全員合唱「ワルチング マチルダ」

## 習うより慣れる

オーストラリアで過ごした八日間は、私にとって一生の宝となりました。言葉は分からなくても、同じ人間として互いに理解し合えることを学びました。ホストファミリー、ハイスクールで知り合った友達も私にとっても親切にしてくれました。日本とは異なる文化の中で、自分を取り巻くすべてのことが新鮮に感じられました。この地球上にはまだまだ自分には知らないことがたくさんあることを実感したのです。

オーストラリアの多くの方々から、三月に起きた東日本大震災への励ましの言葉をいただきました。大変嬉しく思いました。同時に、オーストラリアと日本との国際関係に温かな深いつながりがあること、そして、その歩みが今日にまで着実に発展し、続いていることが理解できました。また、いつかオーストラリアを訪ねたいと思っています。

最後に、共にオーストラリアで過ごした派遣生のみなさん、お世話になった先生方、そして練馬区の方々に、心より感謝いたします。  
ありがとうございました。

中村中学校

藤野 里菜